

2025年度大東文化大学大学院春季入学試験(2月15日)／問題  
文学研究科 書道学専攻【英語】 博士課程前期課程

I. 次の英文を和訳しなさい。(40点)

この部分に掲載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

II. 次の英文の要旨を日本語(100字程度)でまとめなさい。(30点)

この部分に掲載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

III. 適切な前置詞を空欄に補って各文章を完成しなさい。(30点)

1. I'm not accustomed \_\_\_\_\_ cold weather.
2. When you divide 2 \_\_\_\_\_ 6, answer is 3.
3. When you subtract 1 \_\_\_\_\_ 6, answer is 5.
4. When you multiply 6 \_\_\_\_\_ 3, answer is 18.
5. When you add 6 \_\_\_\_\_ 4, answer is 10.
6. We got rid \_\_\_\_\_ the cockroaches in our apartment.
7. Who dose this book belong \_\_\_\_\_ ?
8. I rely \_\_\_\_\_ my friends for their help.
9. I don't approve \_\_\_\_\_ his lifestyle.
10. The official warned us \_\_\_\_\_ the danger of traveling there.



前期課程

科目名	受験番号	採点欄
中国語	氏名	

問1 全文を日本語に訳しなさい。下線部は書き下し文(訓読)でもかまいません。(40点)

艺术之美是人的情感和想象力在目标物上的投射,欣赏艺术也是在观察自身,因此面对合意的书画足可去烦涤虑,陶冶性情,从中得到慰藉。难怪苏丑性爱古法书名画,不惜万金购之,曰“此足养心性,非他玩好可比。”

注:苏丑:《文房四谱》的作者苏易简之后

問2 全文を日本語に訳しなさい。(60点)

虽然既非金石学者且非金石藏家,传统文人还是很容易与碑帖扯上干系的。赏鉴墨拓,题跋唱和,释文考证,对一个旧时文人来说是再正常不过的事情了,钱谦益亦然。其不仅有购藏碑帖的记录,而且友人中不乏金石藏家,还有后来访碑、拓碑极一时之盛的先行者。后者在晚明并不多见,可以视为乾嘉金石学复兴之前导。

注:钱谦益、字受之,号牧斋

前期課程(春季入学試験)

2025年 2月15日

科目名	受験番号	
日本語	氏名	

1 次のひらがなの文章を、漢字・カタカナにできるところを漢字・カタカナにし、読みやすい日本語にしてください。(20点)

どくさいせいじのもとではとっけんかいきゅうのそんざいはゆるさないのがりそうである。くんしゅのまえにはだいじんもちほうかんもしょうにんものうみんも、すべていちようなしんみんでなければならない。しかしながらくんしゅひとりですべてのせいじをやってゆくことはふかのうである。どうしてもぼうだいなかんりょうそしきがひつようである。ただしこのかんりょうはたんにてんしをたすけてじんみんのせいかつをほしょうするという、てんしのにんむをだいこうするだけのものである。くんしゅがじんみんのざいをじこのよくぼうのためにしょうひすることをつつしむように、かんりょうもまたじこのしよくのためにせいじをおこなってはならない。かんりょうはてんしとじんみんのためにそんざいすべきもので、かんりょうじしんのためにそんざいしてはならないのだ。

ところが、じっさいもんだいとしてこれはひじょうにむつかしい。てんしからいにんされたけんげんがきょうだいなために、ともすればかんりょうはそれをじぶんじしんのためにりょうしてじんみんのことはいっこうにかんがえないのみか、かえってじんみんをさくしゅしてしふくをこやすものがおおいのだ。かんりょうどうしがみっせつにれんらくをとって、たがいにじこのあくじをいんぺいしあい、そのかげにかくれてわいろをとったりこうきんをごまかしたりする。かんりょうどうしがそうごにめんつをたてあって、けってんをかばいあうのがむしろびとくとさえされている。そこにてのつけられないかんかいのきふうというものがはっせいする。なかでももっともいけないのがこうとうぶんかんしけんたるかきよのしゅっしんしゃである。

2 次の①～⑩の文には正しくない漢字の使い方をしているものが五つあります。その番号(①～⑩)を選び、正しくない漢字と正しい漢字を書いてください。(4点×5=20点)

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| ① 正月の子の日に小松を引く | ② 新春に護摩を炊く        |
| ③ じつと虚空を睨む     | ④ 苦渋の決断を下す        |
| ⑤ 春風が氷を解く      | ⑥ 責任を転化する         |
| ⑦ 借金を精算する      | ⑧ 実も蓋もない話         |
| ⑨ 趣味が嵩じる       | ⑩ 「本日土曜丑の日」(平賀源内) |

3 次の①～⑤の下線部の読みを書いてください。(4点×5=20点)

- ① 善行を嘉する
- ② 序でにお越しく下さい
- ③ 神仏に供物を捧げる
- ④ 諸手を挙げて賛成する
- ⑤ 「有為の奥山けふ越えて あさき夢みし酔ひもせず」(いろは歌)

4 次の①～⑤の下線部に該当する漢字を書いてください。(4点×5=20点)

- ① 故人をほうふつとさせる面差し
- ② 子どもが落葉の山をけちらす
- ③ 地獄のごうかに焼かれる
- ④ 急にとんきょうな声をあげる
- ⑤ 「さみだれを あつめて早し 最上川」(松尾芭蕉)

5 次の①～⑤の( )に適切な言葉を入れて、常体と敬語表現のペアにしてください。(4点×5=20点)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 例：先生が、言った         | ・先生が、(おっしゃ)った     |
| ① そろそろ帰ります        | ・そろそろ( )します       |
| ② 以前、会いましたね       | ・以前、お目に( )ましたね    |
| ③ お話を聞いて理解しました    | ・お話を( )ました        |
| ④ 残念ですが、できません     | ・残念ですが、いたし( )ます   |
| ⑤ お電話があったと伝えておきます | ・お電話くださったことを( )ます |

前期課程(春季入学試験)

2025年 2月15日

科 目 名	受験番号	採 点 欄
日 本 語	氏 名	

2	番号	正しくない漢字	正しい漢字		
	番号	正しくない漢字	正しい漢字		
	番号	正しくない漢字	正しい漢字		
	番号	正しくない漢字	正しい漢字		
	番号	正しくない漢字	正しい漢字		
3	①	②	③	④	⑤
4	①	②	③	④	⑤
5	①	②	③	④	⑤

前期課程(春季入学試験)

科目名	受験番号
書学書道史	氏名

## I 「共通問題」次の1～20の空欄を埋めなさい。(3点×20＝60点)

- 1 廟堂の修復と祭器の修造を行った魯相の韓勅をたたえるために、後漢の永寿二年に建立された(①)はいまも曲阜の(②)廟に存在する。
- 2 一九九七年に出土した、唐の工部尚書郭虚己墓誌銘の書者は(③)である。その書や二年後の多宝塔碑の書風は、民国十一年に出土した晩年の(④)碑などに比べて用筆は厳整である。
- 3 包世臣に師事した(⑤)の楷書や行書は師風を踏襲したが、包が善くしなかった篆書や隸書は包が高く評価した(⑥)の風に倣った。
- 4 平復帖は(⑦)時代の数少ない墨跡のひとつで、その書者は古くから陸機と伝えられてきた。その騎縫印には北宋第八代皇帝(⑧)宗の「宣和」「政和」印や双龍の印などが認められる。
- 5 欧陽詢の第四子である欧陽(⑨)は早くに父を失ったが、母が買い集めた父の書を習い、別格を具えるにいたった。その伝世の書には(⑩)碑や泉男生墓誌銘がある。
- 6 群馬県高崎市に所在する(⑪)は、(⑫)時代に上野国に新たに郡が設置されたことを記念した碑で、金井沢碑・山上碑と併せて上毛三碑と呼ばれる。
- 7 (⑬)は、聖武天皇自筆の長巻で、光明皇后によって東大寺大仏に献納された宝物の目録(⑭)に記載されている。
- 8 京都国立博物館に所蔵される国宝「芦手下絵和漢朗詠集」を書写した(⑮)は、その娘のために書論(⑯)を著した。
- 9 藤原俊成の子で『詠歌大概』を著したことなどで知られる(⑰)の日記を(⑱)と呼ぶ。
- 10 (⑲)は寛永の三筆の一人に数えられ、近衛前久に学んだ和様の能書である。同時に真言宗の僧侶として(⑳)流の書も得意とした。

## II 「選択問題」次の①～⑳の事項から二つを選び、それぞれ一五〇字以内で知るところを述べなさい。

(20点×2＝40点)

- |        |           |        |        |                |
|--------|-----------|--------|--------|----------------|
| ① 石鼓文  | ② 散氏盤     | ③ 温泉銘  | ④ 張玄墓誌 | ⑤ 鄭道昭          |
| ⑥ 何紹基  | ⑦ 王献之     | ⑧ 校碑   | ⑨ 石経   | ⑩ 家刻法帖         |
| ⑪ 写経所  | ⑫ 金剛般若経開題 | ⑬ 粘葉装  | ⑭ 女手   | ⑮ 平家納経         |
| ⑯ 伏見天皇 | ⑰ 墨跡      | ⑱ 法性寺流 | ⑲ 中林梧竹 | ⑳ 『書品』(東洋書道協会) |



問題

二〇二五年度 大東文化大学大学院【春季】入学試験

文学研究科 書道学専攻（博士課程前期課程）

二〇二五年二月十五日

科目名	
A方式 創作	
氏名	受験番号
採点欄	

2 創作 次の〔I〕～〔IV〕の中から一題を選び、半切に書きなさい。

落款は「大東書」または「大東かく」と書き、赤フェルトペン等で、印の位置、形、大きさを示しなさい（受験番号を左下に鉛筆で記入すること）。

〔I〕 次の漢詩を半切に書きなさい。ただし、書体・書風・構成は自由。

古墨輕磨滿几香 硯池新浴照人光

〔II〕 次の漢詩を半切に書きなさい。ただし、書体・書風・構成は自由。

獨在異鄉爲異客 每逢佳節倍思親  
遙知兄弟登高處 遍插茱萸少一人

〔III〕 次の和歌を半切に書きなさい。ただし、漢字と仮名の変換、変体仮名の使用、書風、構成は自由。

萩の花咲きたる野辺にひぐらしの 鳴くなるなへに秋の風吹く

〔IV〕 次の言葉を半切に書きなさい。ただし、漢字と仮名の変換、書風、構成は自由。

花はなぜうつくしいかひとすじの気持ちで咲いているからだ

問題

二〇二五年度大東文化大学大学院【春季】入学試験

文学研究科 書道学専攻（博士課程前期課程）

二〇二五年二月十五日

科目名

A・B方式共通 臨書

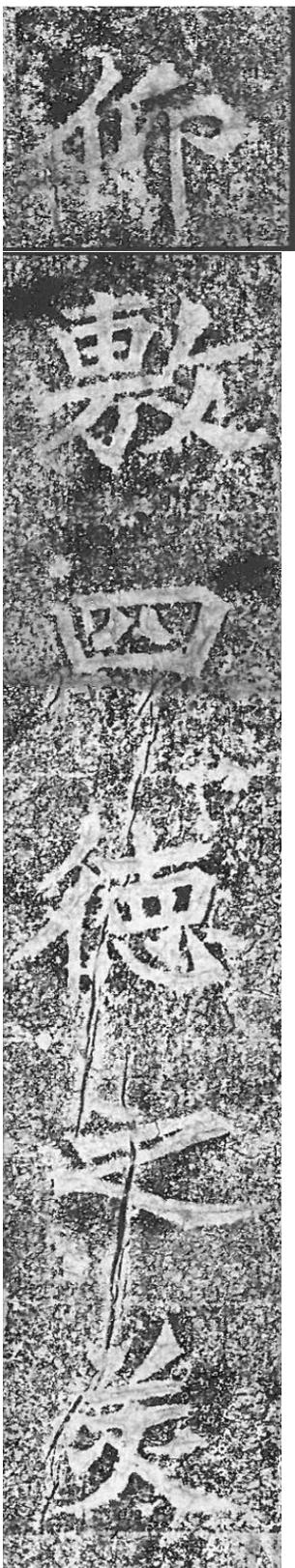
受験  
番号

氏名

採点欄

1 臨書 次の〔I〕～〔VI〕の中から一題を選び、半紙に書きなさい。

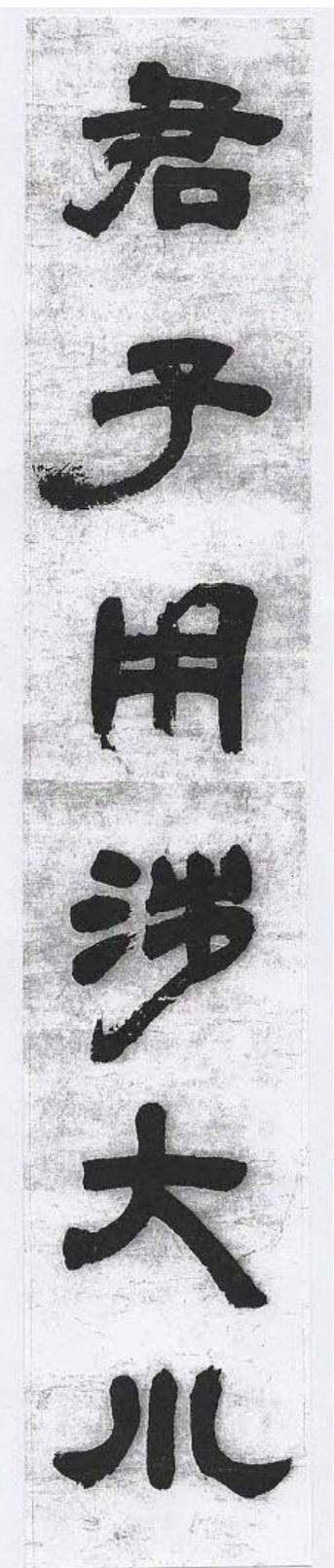
〔I〕 楷書 「高貞碑」仰敷四徳之美



〔II〕 行草書 趙孟頫筆「前後赤壁賦」託遺響於悲風



〔III〕 隸書 鄧石如筆「隸書『周易』謙卦六屏」君子用涉大川



〔Ⅳ〕篆書 呉讓之筆「篆書崔子玉座右銘四屏」道人之短

道人之短

〔Ⅴ〕仮名 藤原伊房筆「十五番歌合」六番 堤中納言 ひとのおやのこころはやみにあらねとも

こをおもふみちにまよひぬるかな

六番  
ひとのおやのこころはやみにあらねとも  
こをおもふみちにまよひぬるかな  
堤中納言  
おもふみちにあらねともこを  
おもふみちにあらねともこを  
おもふみちにあらねとも

〔Ⅵ〕仮名 伝西行筆「二條撰政集」つねのあきはよそにきくにしむしのねをあはれと思ふたれによりそは

つねのあきはよそにきくにしむしのねをあはれと思ふたれによりそは  
つねのあきはよそにきくにしむしのねをあはれと思ふたれによりそは  
つねのあきはよそにきくにしむしのねをあはれと思ふたれによりそは



科目名	受験番号	
B方式 小論文	氏名	

2 小論文

次のテーマについて二二〇〇字以内で記述してください。

中国では宋時代以降、印刷技術が飛躍的に発達し、国家による正統な古典籍テキストの管理が行われ、国の威信をかけた印刷文化が発展した。同時代の中世日本では、印刷技術は仏典などの限られた分野にとどまり、総じて古典籍テキストは、権威ある公家を中心に、口伝を併用しながら写本のかたちで流布し、さらに江戸時代になると整版（活字によらない版木による印刷）により庶民層にも解放された。

これらのことを踏まえ、写本文化と印刷文化の関連に留意しながら、日中の書道文化の特質について、任意の切り口から具体的事例を挙げつつ、説得的に所見を述べて下さい。